

紙資料のデータ化 今こそ前進 させましょう!

私どもが
お手伝い
いたします



加速する AIでの活用に備えて

紙のまま眠っている情報は活用されないまま埋もれてしまいます。データ化しておけば、検索・共有・分析が一気にスムーズに。AI活用の基礎づくりは、まず「資料のデジタル化」から始まります。



手書き資料の OCRがすぐそこまで

AIの進化により最新のOCR技術では、手書き文字の読み取り精度が大幅に向上（ディープラーニング）。これまで「データ化は難しい」と思われていた手書き資料のデジタル化が可能になりつつあります。



貴重な資料が 劣化する前に保管を!

紙は時間とともに確実に劣化します。破損・紛失・災害リスクから守るためにも、データ化は「保全」の最も確実な手段です。



ダンボール 目安

1箱 / 約4~5万円

ハードファイル5~6センチが6冊ほど入り、
A4書類が500枚/冊を想定。
(カラーを全体の2割で想定)

図面ケース 目安

1箱 / 約3万円

A1図面100~130枚を想定。
(全てモノクロで想定)

ご相談・見積依頼は担当営業まで。お待ちしております!!

D-WAVE

2

大和写真工業(株)

本社 高槻支店

大阪府豊中市三和町4-3-1
大阪府高槻市明田町1-12

TEL 06-6331-1807(代)
TEL 072-6811-8055(代)

FAX 06-6332-4453
FAX 072-6811-8360

ディー・ウェーブ

D-WAVE

MONTHLY NEWS LETTER PRESS vol.217

2026

2

February

アイに夢中

世はまさにAI全盛時代! AIを使えない企業はやばくない?

AIを活用できないと生き残っていけないのでは?とささやかれる昨今。

そんななか大和写真の今年のスローガンは「AIを活用し成果をあげる」。

恥づかしながらAIビギナーの弊社は、これまで各個人が知識取得や情報収集のためだけに利用していたのが現状。

それを各部署単位で課題・問題点をピックアップ、具体的にどんな目的・目標を達成したいのかを明確化、

それらを実行するためのツールとしてAIを利用する、そしてそこには必ず成果がともなうこと、

という取り組みにしました。(さてさて、どうなることやら…)

注意するのは「AIバカ?にならない」、「AIに使われてはダメ!」ということ。

基本理念でもある「お役立ち精神」は常にてっぺんに掲げながら、

全社一丸取り組んでまいります。

代表取締役 鶴井 宏尚

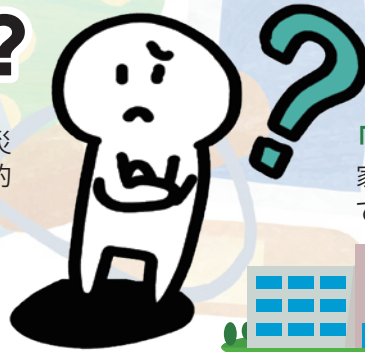


避難場所

一時的に逃げる場所

逃げるは知るほど役に立つ

知っていますか？



避難先の違い

「避難場所」とは、地震などの災害による火災や土砂災害、その他の危険から緊急的に身を守るために、一時的に避難する施設や場所のことを指します。

避難を知らせるレベル

警戒レベル	危険度分布	取るべき行動
5	災害切迫	命の危険 ただちに安全確保
▼▼▼警戒レベル4までに必ず避難▼▼▼		
4	危険	危険な場所から 全員避難
3	警戒	危険な場所から 高齢者等は避難

指定緊急避難場所

避難勧告などの発令が出た場合には、消防や警察などの指示に従い、災害種別ごとに指定されている安全な場所に避難しましょう。

※家の倒壊や浸水の危険がない場合は、自宅での「在宅避難」で身の安全を確保することが推奨されています。

「避難所」とは、災害などで自宅に帰れない方や、家屋の倒壊や焼失などにより自宅で過ごすことができない方を保護する場所のことを指します。



小・中学校



公民館

などが主な避難所として割り当てられます。

避難所では食べ物や生活物資が提供され、災害の危険性がなくなる間や、仮設住宅が建設されるまでの期間など、被災者が通常の生活に戻るまでの一時的な生活拠点となります。



避難所

一時的に生活する場所

災害によっても、逃げる場所の判断が必要です



津波と地震のとき



地震のとき



地震と火事のとき



防災公園

「防災公園」は、大規模災害時に、救援物資の中継基地や、防災活動の拠点となる頼りになる公園です。

※各自治体にそれぞれの機能を装備した公園があります。

★写真はいずれも野田中央公園



ご飯も炊ける
かまどベンチ



蓋をあけて早変わり
マンホールトイレ



夜は照明 充電もOK!
ソーラー照明灯

